

翔こう広島！ 活力あふれる佐伯区・広島県に！ 富永健三情報誌

TOMINAGA通信

〔自由民主党広島県議会議員連盟会報〕

第17号

発行日：令和2年7月15日

発行者：富永健三事務所

新型コロナウイルス感染症対策に最前線で従事された方々と、長期の外出自粛要請や休業要請にご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。



令和2年4月臨時会

4月臨時会・6月定例会において

広島県の新型コロナウイルス感染症緊急対応予算が決定

本県にかつてない危機をもたらしている新型コロナウイルス感染症に対応するため、広島県議会では、4月30日から6月18日までの50日間に及ぶ異例の臨時会を開き、また6月定例会を含め、感染拡大防止対策などの緊急対応を実施する累計1,179億円余り*の補正予算を決定しました。

※令和元年度補正予算及び令和2年度補正予算の実質事業費ベースの累計



令和2年6月定例会

〔会派構成〕

会派名(略称)	議員数
自民議連	33人
民主県政会	14人
広志会	7人
公明党	6人
自民会	1人
共産	1人
自民大志会	1人
ひろしま令和	1人



最大会派 自民議連会長として引き続き舵取り！

広島県議会の最大会派である「自民議連」の会長として2年目を迎えました。全議員の過半数を超える会派であり県政運営を支える大きな役割を担っています。

広島県全体の発展と活力ある地域社会の実現に向けて、様々な課題に対し是々非々の姿勢を堅持しつつ、湯崎知事と共に地方創生の取り組みを着実に推進してまいります。



委員会は「文教委員会」「創造的復興・県土強靱化対策特別委員会」に所属！

18年連続、通算22年目の文教委員会となりました。広島で学んでよかったと思える日本一の教育県の実現に向け、「学びの変革」が着実に推進されるよう、諸課題に対して、真正面から取り組んでまいります。

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興、防災・減災などを審査する「創造的復興・県土強靱化対策特別委員会」に昨年7月から所属して議論を積み重ねています。復旧・復興事業の早期完了に向けてしっかり取り組んでまいります。

県議会ホームページをご覧ください。

広島県議会

検索

富永 健三 プロフィール

選挙区：広島市佐伯区
当選回数：7回(平成9年～)

生年月日：昭和24年8月25日
学歴：修道中・高校卒業
京都大学法学部卒業

■議会活動

副議長(第104代)／議会運営委員会委員長(2回)／予算特別委員会委員長／決算特別委員会委員長／文教委員会委員長(2回)／文教委員会委員(通算22年)／自民党広島県議会議員連盟会長 他

■その他活動

自民党広島県連政調会長／広島県信用保証協会監事／広島市水泳連盟会長／広島市卓球協会顧問／広島県サッカー協会顧問 他

富永健三事務所

皆様のご意見・ご要望をぜひお寄せください。

住所 〒731-5124 広島市佐伯区皆賀三丁目22-18-303

電話 082-923-7080 FAX 082-923-7277



kenzo97@bronze.ocn.ne.jp



ameblo.jp/t-kenzo

新型コロナウイルス感染症への対応

TOMINAGA 県政 TOPICS!



県内の新型コロナウイルスの感染状況は、長期にわたる自粛要請や休業要請などの感染防止の取組に多くの皆様のご協力いただいたことにより、落ち着きを見せていますが、第2波、第3波の感染拡大も懸念されています。また、経済活動の停滞による影響はあまりにも甚大で、極めて厳しい状況におかれています。

広島県では、これまで5度の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症に対応した感染防止対策、医療体制の確保、事業継続支援など様々な対策を行っています。広島県議会においても、令和2年2月定例会や50日に及ぶ4月臨時会、6月定例会、また、コロナ対策常任委員会などにおいて、各補正予算案や各種対応策などについて審議を重ねてきており、引き続き、新型コロナウイルスの脅威に対して全力で取り組んでまいります。

令和2年4月臨時会 新型コロナウイルス感染症緊急対応予算等を審議

会 期：令和2年4月30日～6月18日(50日間) 常任委員会：新型コロナウイルス対応に特化して
本会議：延べ6日、質問者12名 延べ36回開催

県議会の主な取り組み

新型コロナウイルス感染症対策に関する決議(令和2年6月18日可決)

県民の方々の感染拡大防止の取組に対する感謝とコロナの脅威から県民の命と健康を守り、経済・社会活動の復活に向けて全力で取り組んでいく県議会の意思を決議として示しました。

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書(令和2年2月27日可決)

地方における検査・医療体制強化への支援充実やワクチン及び簡易検査キットの早期開発、地域経済への影響を踏まえた対策の実施、地方に対する財政措置などについて、意見書を国に提出しました。

コロナ過における児童生徒の学びの保障を求める意見書(令和2年6月30日可決)

教育の機会均等と水準の維持向上を図るための財源確保について、意見書を国に提出しました。

新型コロナウイルス感染症緊急対応予算の概要 総額1,179億3,300万円

(令和元年度3月補正から令和2年度6月補正までの実質事業費の累計)

感染拡大防止対策

検査体制の強化…………… 1,392 百万円

PCR検査機器の整備(県立広島病院、保健所設置市、医療機関等)、PCR・抗体検査の自己負担補助、ドライブスルー方式の検体採取、感染症医療従事者の検査など。

社会福祉施設、学校等の感染拡大防止対策 7,186 百万円

社会福祉施設等の感染症防止用備品購入や介護・障害者福祉施設の多機能型簡易居室の設置に対する補助、県立高等学校や幼稚園の感染防止対策支援、特別支援学校のスクールバスの増便など。

避難所の感染防止対策…………… 115 百万円

避難所の感染防止用物資の備蓄(段ボール・テント等の間仕切り、消毒剤など)。

マスク・消毒液等の確保…………… 1,899 百万円

医療施設、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、学校等に配布するマスク・消毒液等の一括購入など。

医療提供体制の確保

医療設備の整備及び感染症患者の病床確保 11,153 百万円

医療機関における高度医療設備、簡易陰圧装置、人工呼吸器、ECMO等の整備補助、感染症患者等の病床確保、県立広島病院の患者隔離用病室等の整備など。

医療機関等の感染拡大防止対策 8,774 百万円

医療機関・薬局等における動線確保等の院内感染拡大防止対策の補助。

医療従事者への慰労金の給付 8,585 百万円

感染リスクがある環境の医療機関の職員への慰労金給付[1人当たり5万円～20万円]

宿泊施設の借り上げ…………… 2,464 百万円

軽症者等の受入れのための宿泊施設の借り上げ。

マスク・消毒液等の確保…………… 1,427 百万円

医療機関等のマスク、消毒液、防護服等の一括購入。

3密を避けた事業継続と雇用維持

感染拡大防止協力支援金 9,300 百万円

休業要請に協力いただく中小企業者等への支援金給付[10万円～50万円]

経営相談体制の強化…………… 369 百万円

中小企業者等を対象とした経営相談窓口の設置。

観光誘客の促進…………… 2,923 百万円

宿泊事業者等が行う宿泊割引プランや旅行割引プランへの補助。

- ・宿泊者1人当たり5,000円～10,000円
- ・旅行者1人当たり2,500円～15,000円

応用・実用化開発等の支援…………… 374 百万円

ものづくり企業の応用・実用化開発、新しい生活様式に対応した新技術の事業化検証に対する補助。

民間金融機関を活用した資金繰り支援 42,501 百万円

実質無利子・無担保の資金繰り支援
[融資限度額4,000万円 融資枠6,500億円]

雇用調整助成金等の申請サポート 1,300 百万円

中小企業者等の雇用調整助成金の申請費用を補助
[上限10万円]

テイクアウト等の参入促進…………… 535 百万円

テイクアウト・デリバリーの初期投資費用の助成、新規営業許可申請手数料の免除・返還。

県産農林水産物の学校給食への提供 432 百万円

県産水産物、広島和牛の消費拡大を図るため、小中学校の給食での提供を支援。

教育機会の確保

学校再開に伴う感染防止対策・学習保障 1,773 百万円

県立学校の空調整備及び維持費負担・遠隔授業用ネットワーク機器の整備・感染防止対策の実施、私立学校の感染防止対策への補助。

学習指導員等の配置…………… 969 百万円

県立学校の学習指導員及びスクール・サポート・スタッフ配置、私立学校の学習指導員等の配置補助。

安心・安全な県民生活

子育て世帯、妊産婦への支援 1,415 百万円

放課後子供教室の開設、放課後児童クラブへの支援、高等学校等の奨学給付金、私立学校等の授業料等の減免補助、特別支援学校等の臨時休業によるデイサービス等への補助、妊産婦へのPCR検査の実施など。

個人向け緊急小口資金等の特例貸付の実施 2,965 百万円

感染症の影響による休業等のため一時的な資金が必要な世帯への貸付。

障害者支援施設、高齢者支援施設への支援 295 百万円

通所事業者等の代替手段によるサービス提供や応援職員派遣の支援、在宅障害者の見回り支援、障害者就業・生活支援センターの体制強化、訪問介護事業所のICT機器等の導入支援など。

介護施設従事者等への慰労金 6,701 百万円

感染リスクがある環境の介護・障害福祉施設等の職員への慰労金給付[1人当たり5万円又は20万円]

“広島叡智学園”が開校して2年目を迎えました

広島叡智学園は、広島版「学びの変革」のモデル校として、地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成することを目的とした全寮制の中高一貫教育校で、大崎上島町に平成31年4月に開校しました。4月から新たに第2期生を迎え、新2年生は先輩としての自覚も芽生えています。コロナ禍での休校中はオンライン授業となりましたが、各自一生懸命に学習等に励み、日々切磋琢磨しながら、たくましく成長しています。

教育内容



英語力の育成

一般の中学・高校の数倍の学習時間と少人数指導などにより、海外大学等に進学した場合でも通用する、アカデミックな英語力を身に付けるプログラムが始まっています。

国際バカロレアプログラムの導入 (令和3年度認定予定)

プログラムを受講し、試験に合格することで、多くの海外大学の入学資格を得ることができます。

国際協働型プロジェクト学習

未来創造科では実社会の課題解決に挑戦する学習を進めており、中学1年生では「幸福とは何か」「世界正義」及び「環境」をテーマに学習を始めています。中学2年生は「環境」というテーマで重点的に学習します。

外国人留学生の受け入れ

高校段階からは、多くの海外留学生を受け入れ、多様性のあふれる学習環境を提供します。



広島港五日市地区に2社進出!

本年5月20日、広島港五日市地区の工業用地2区画の分譲予定者が決定しました。

同地区には、約10,000㎡の未分譲区画があり、生産用機械器具製造業への分譲が計画されています。

区 分	A 区 画	B 区 画
企 業 名	カ ル ビ ー (株)	(株) シ ン コ ー
施 設 内 容	菓子食品製造工場	はん用機械器具製造工場
分 譲 面 積	約 100,000 ㎡	約 61,000 ㎡

